

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 一般-54

学校名・団体名	ほのくに生活・総合研究会
HPアドレス	https://manavia.net/community/54
コース	教育研究
活動・研究 テーマ	これからの生活科・総合的な学習の時間の創造
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <ul style="list-style-type: none">・ よりよい生活科・総合的な学習の時間の実践を求めて、実践を基盤とした自主的・主体的な学習会を開催し、参加者一人一人の資質向上を図る。・ 生活科・総合的な学習の時間を支える教育理念について学び、それを通して、「学ぶとはどんな営みであるのか」について議論を深める。	

<活動時期>

平成 29 年 2 月 10 日 (金) 19:00~21:30 第 21 回ほのくに生活・総合研究会

平成 29 年 2 月 25 日 (土) 10:00~14:00 第 22 回ほのくに生活・総合研究会

<活動内容>

☆第 21 回ほのくに生活・総合研究会 (参加者 23 名)

仙台市北六番丁小学校より、防災教育を推進してみえる千葉久美子先生をお招きして、防災についてのお話をいただいた。大変精力的にお話を頂き、あつという間の 1 時間だった。

1 時間ではとても足りない、中身の濃いお話だった。その後、食事をとって参加者で語り合ったが、気が付けば予定の 9 時をすっかり超えており、大変充実した時間を過ごすことができた。

東日本大震災の経験から、「自分の命は自分で守る」「地域に顔を知っている人をできるだけ増やす」ことの大切さがよくわかった。

◆参加者の声



防災教育について、学校で取り組んでいなかったもので、やらなくてはいけない。という気持ちになりました。訓練でやるだけではなく、子どもたちに考えさせる。という視点で取り組んでいきたいなあ。と思います。

防災について、考える機会がこれまでになかったので、とてもよい時間になりました。現在校では地域とのつながりを大切にしているので今日聞いた話が有意義でした。ありがとうございました。

自分の中の、防災に対する意識は、低いものでした。しかし、お話を聞く中で、重要性を強く感じ、各教科の中で、防災を組みこんで、授業をする方法を、勉強したいと思いました。本日は、貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。

☆第 22 回ほのくに生活・総合研究会

(ポスターセッション参加者 41 名・午後の部までの参加者 32 名)

14 本のポスターが掲示され、そのうち 11 本のポスターについて、実践者が発表した (3 本については、実践者の都合で掲示のみとなった)。語る側も聴く側もたいへん熱心で、会場は、参加者の熱気にあふれた。A,B グループに分け、それぞれが発表する 30 分×2 回の間に、聞きたい発表を聞くという形をとったが、一度、足を止めるとずっと聞き入ってしまい、全部の発表が聞けない人もたくさんいた。発表する側と聞く側の距離が大変近いので、気軽に質問したり、意見を言ったりする場面が多くみられた。

午後からは、川崎市立大島小学校の赤松先生にミニ講演をいただいた。『明日もいきなくなる学校』を経営の柱として掲げる学校運営は、たいへん魅力的で、参加している人たちの心に響く内容であり、教育の本質の部分を教えていただいたように思った。

◆参加者の声



ありがとうございました。初めてポスターセッションというのをしましたが、一度にいろいろな実践・研究のことを知れたり、聞けたりしました。質問なども気軽にでき、とても楽しかったです。いろいろな熱い思いを聞くことができてよかったです。

また、赤松先生の話も聞けてよかったです。教育目標の 3 つは、シンプルで、分かりやすいので、子どもも職員も共通理解でき、一心同体でできるから、良いなと思いました。

いろんな先生方にアドバイスをいただけ、発表してよかったです。ありがとうございました。

尚、この 2 回のほのくに生活・総合研究会については、「ほのくにだより」No65~No70 にまとめ、参加していただいた方々に報告した。